

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 3班	時間	9:23~10:05
事業番号	22	担当部署	企画広報部広報課
事業名	「県民の日」事業費		
事業費	2,600 千円		
事業仕分け結果		県（要改善）	
区分	(1)不要	2	
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）	3	
	(7)県実施（現行どおり）		
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt;不要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民の日の意義が明確でないため、県として何を県民に伝えたいのかコンセプトがはっきりせず、事業が平成8年から14年間続いていることを考えると、コストを含めた全体を一度検証すべき。</li> <li>・ こども県議会の必要性もあるかもしれないが、県民の日に必ずしも実施する必要はなく、教育委員会や他のところで代替で実施することも可能。</li> <li>・ パネル展などは、県民の日に特別に行う必要はない。パネルの使い回しはできる。</li> </ul> <p>&lt;県実施（要改善）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報といっても広報の本当の意味は、県民と県との間の共通意識を形成することが必要。県民との距離を縮めることを考えてほしい。過去ではなく、現在あるいは未来志向で、事業を考えた方がよい。</li> <li>・ 県民の日の条例に基づく趣旨を踏まえ、これまで積み重ねてきた歴史を先に続ける努力をしてほしい。的をもう少し絞ってより効果的なことを実施すれば、県民としての自覚、誇りをもたせることができる。</li> <li>・ 静岡県はすごい、県に住んでいる人がこういうことをやっていてすごいという気持ちが沸き起こるような事業を展開した方が誇りの気持ちにつながるのではないか。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民が県に対して誇りを持つことは悪いことではなく、よいこと。</li> <li>・ 事業の目的に対して手段が適切か、コストに対して効果があがっているか整理されていないことに疑問を感じるので、整理して見直した方がよい。</li> </ul>			

### 静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 3班	時間	10:08~10:40
事業番号	23	担当部署	企画広報部広報課
事業名	調査広聴事業費		
事業費	7,972 千円		
事業仕分け結果		県（現行どおり）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		2
	(7)県実施（現行どおり）		3
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt; 県実施（要改善） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この時代になってくるとできるだけ予算を節約して実施することが必要。世論調査のような内容をインターネットで反映することも可能。経費を削減する意味で、2つの制度を合体し、インターネットで実施することを検討してほしい。</li> </ul> <p>&lt; 県実施（現行どおり） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県政インターネットモニター調査は自由意見を記入できるところを増やした方がよい。</li> <li>・ 県政インターネットモニターへの謝礼は決して高くはない。モニターにも負担がかかる。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政策立案していく中で当然必要な事業であり、この事業がいらぬということはない。</li> <li>・ 現行どおりという結論にはなったが、コスト、方法論については、常に検証していないと、これがいつまでもよいということではない。</li> <li>・ これがベストなのか、常に改善を見据えながら実施してほしい。</li> </ul>			

### 静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 3班	時間	10:45～11:30
事業番号	24	担当部署	企画広報部調整課
事業名	少子化対策行動計画推進費		
事業費	3,800 千円		
事業仕分け結果		県(要改善)	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		1
	(4)市町村		
	(5)県実施(民間委託)		
	(6)県実施(要改善)		4
	(7)県実施(現行どおり)		
<b>【事業仕分け区分に係る意見】</b>			
<p>&lt;国・広域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県で実施するにはかなり手広い内容。</li> <li>少子化という現象に対して、人口減少を前向きにとりあげた対策の方がよい。</li> </ul> <p>&lt;県実施(要改善)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国策の中でどう実施するのか、特に「しずおか子育て優待カード」は不要。</li> <li>個別の事業については不要。ただし、県として実施すべきことを、静岡県次世代育成支援対策地域協議会できちんと議論してほしい。</li> <li>現に子育てをしている世代が、生活しにくい、外に出にくいなど、次の子どもを産みたいというインセンティブを与えられない状況にあるので、住民に近い自治体を実施すべき内容があると思う。</li> </ul>			
<b>【班としての全体意見】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化対策はいろいろな考え方があって難しい問題。</li> <li>少子化をとめることは無理ではないかという意見もあるが、それに対して対症療法的な対策を考える必要もある。</li> <li>「しずおか子育て優待カード」の在り方についてはかなり意見が出ていたので、検討してほしい。</li> </ul>			